青年招へい事業

韓国

[交流レポート]

청년 초청 사업

한국

[교류 보고서]

JICA LIBRARY
J 1157312 (8)

1999

国際協力事業団

JICA
110
36
DPT
LIBRARY

国内研
J R
00-08

信頼と友情への第一歩

신뢰와 우정에의 첫걸음

平成11年度韓国青年招へい事業

1999년도 대한민국 청년 초청사업

開講式

개강식

国際協力事業団より歓迎のあいさつ
국제협력사업단으로부터 환영인사 말씀

いよいよプログラムがスタート
드디어 프로그램이 시작

共通プログラム

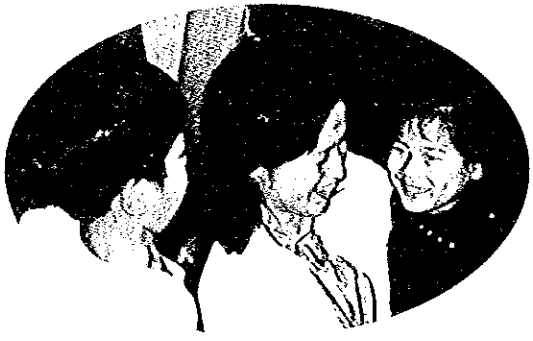
공통 프로그램

初めての体験に少し戸惑い気味(施設見学)
첫 경험에 약간 당혹한 모습

体を使って日本語を覚えましょう(日本語学習)
몸전체로 일본어를 배워요

講義を真剣に聞く青年たち
강의를 진지하게 듣는 청년들

分野別都内プログラム
분야별 도내 프로그램



子どもは人類共通の財産です
어린이는 인류공동 재산이에요

講義にも熱が入ります
강의에도 열중

新聞社にてマスコミの勉強
신문사에서 매스컴 공부

合宿セミナー
합숙 세미나

日本で夫婦気分？
일본서 부부 기분？

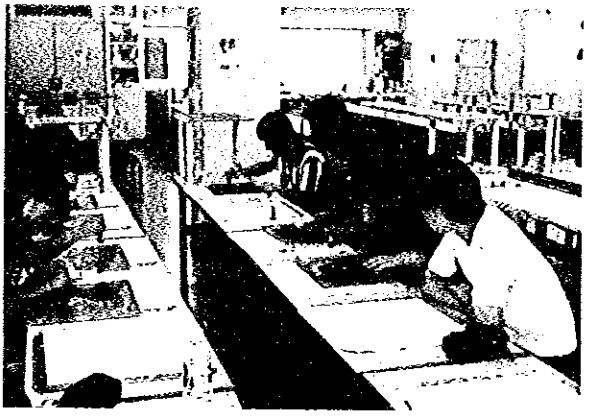
日本を知る良い機会
일본을 아는 좋은 기회

学ぶ時は学ぶ
배울 때는 배운다

パーティーは大いに楽しく盛り上がろう
파티는 마음껏 즐기자

分野別地方プログラム
분야별 지방 프로그램

地方で再び歓迎一色
지방에서 또다시 환영 일색



書道に挑戦
붓글씨에 도전

ホームステイ
홈스테이

日本の新しい家族です
일본의 새로운 식구에요

さぁ、チョゴリのお披露目
한복 어때요

同時期にホームステイしていたアイルランド女性と三国交流
같은 시기에 홈스테이하고 있는 아일랜드 여성과 삼개국교류

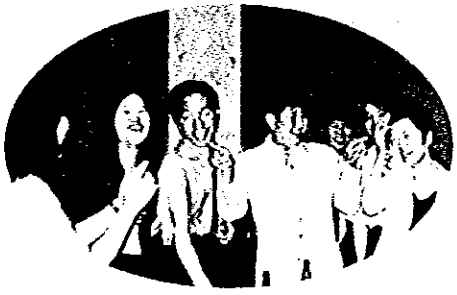
どこへ行っても勉強することは多いです
어디를 가나 공부할 것이 많아요

見学旅行
견학여행

日本三景の一つ、宮島を楽しむ青年
일본의 삼경중의 하나인 미야지마를 즐기는 청년

平和への祈りを新たに
새로운 마음으로 평화의 기도를

閉講式・歓送会
폐강식 · 환송회



最後まで楽しみました
끝까지 즐거웠어요

韓国側団長より締めくくりのスピーチ
한국측 단장님의 마무리 스피치

国際協力事業団より参加証の授与
국제 협력 사업단으로부터 참가증 수여

この思い出を忘れないように
이 추억이 잊혀지지 않게

青年招へい事業

청년 초청 사업

日本語編・일본어편……3
韓国語編・한국어편……25

青年招へい事業

1157312 [8]

はじめに

「青年招へい事業」は、国際協力事業団（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、将来の国造りを担う青年を、専門分野別に約1カ月間招へいし、それぞれの専門分野について学ぶとともに、ホームステイ受入家族などとの幅広い交流を通じて相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

招へい国は当初アセアン６カ国のみでしたが、現在は120カ国以上にまで拡大し、昭和59年度に事業を開始して以来、16年間で日本を訪問した青年は19,849名に達しました。これはひとえに、関係各方面の皆様のご協力と温かいご支援によるものと、心からお礼申し上げます。

本報告書は、招へい青年、合宿セミナーに参加した日本青年およびホームステイを引き受けていただいた全国の家庭の皆様から寄せられた感想文を中心に、招へい青年の滞在記録をとりまとめたものです。本報告書が本事業のさらなる発展の指針となり、また皆様の良き思い出の一助となれば幸いです。なお、本報告書は今年度の全招へい青年および各国の関係者にも送付させていただく予定です。

最後となりましたが、心温まるご感想、ご意見をお寄せいただいた皆様ならびに関係者の方々に重ねてお礼申し上げますとともに、「青年招へい事業」がさらに有意義なプログラムとなりますよう、今後ともご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成12年３月

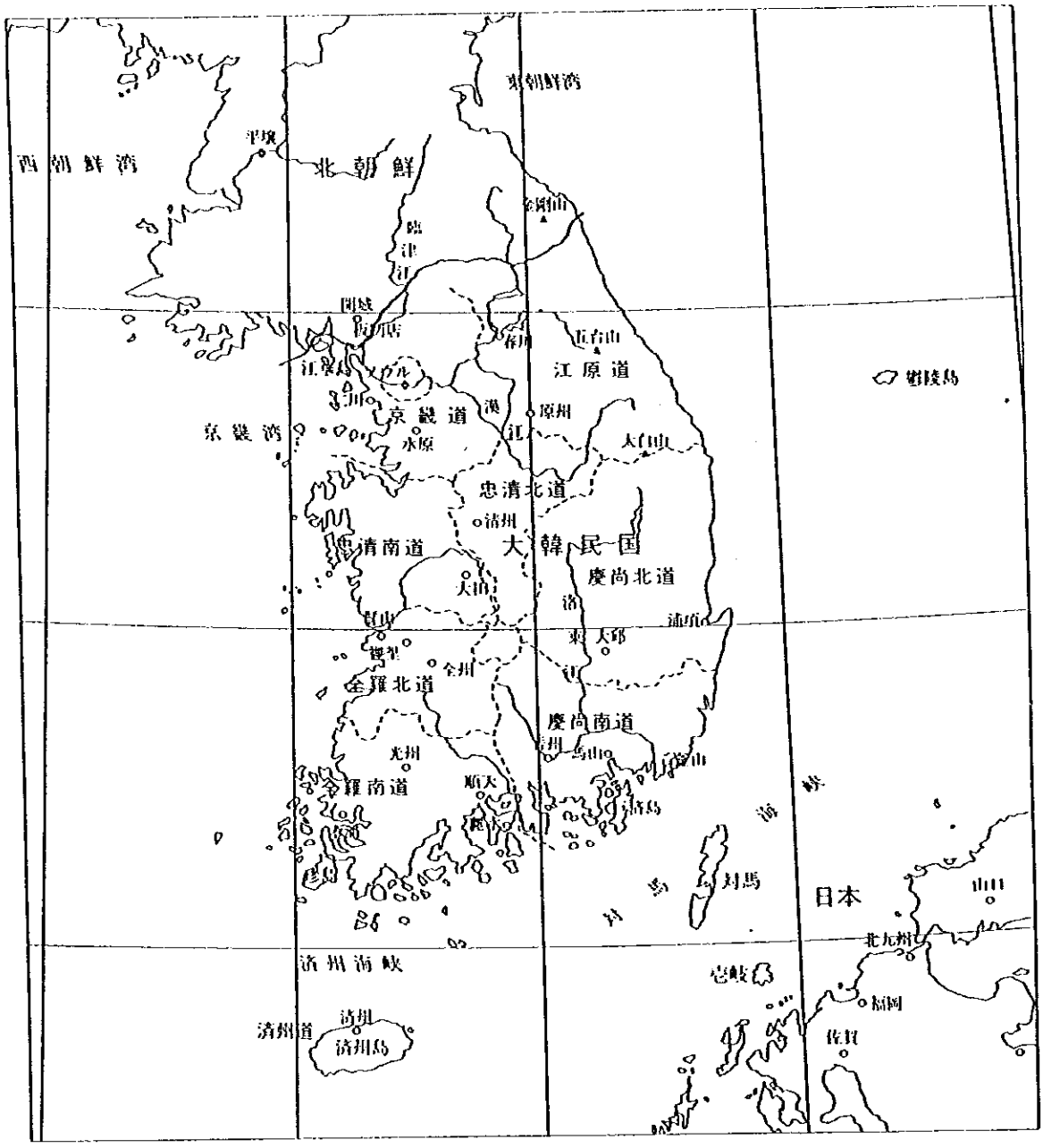
国際協力事業団
国 内 事 業 部
部長　今津　武

目　　次

はじめに

1．韓国青年招へい事業
1-1 概要……9
1-2 招へい実績……10
2．招へい青年の印象……13
3．合宿セミナー参加日本青年の声……15
4．ホストファミリーの思い出……17

〈実績資料〉
1．韓国青年招へい実績一覧……21
2．平成11年度青年招へい実績一覧……22


東朝鮮湾
西朝鮮湾
平壌
北朝鮮
金剛山
臨津江
開城
板門店
江華島
ソウル
春川
五台山
江原道
鬱陵島
京畿道
漢江
原州
京畿湾
水原
太白山
忠清北道
清州
大韓民国
忠清南道
慶尚北道
大田
洛東江
浦項
大邱
全州
全羅北道
慶尚南道
光州
馬山
全羅南道
順天
濟島
海峡
対馬
日本
山口
北九州
壱岐
福岡
佐賀
濟州海峡
濟州道
濟州
濟州島

7. 韓国青年招へい事業

1-1 概　要

(1) 目的

21世紀に向けて、日本と韓国との友好と協力の関係をより強固かつ実りあるものとするため、未来の国造りを担う韓国の青年をわが国に招へいし、日本の同世代の青年との交流を通じ、相互理解を深め、真の友情と信頼を培うことを目的とする。

(2) 実施方法

ア　招へい人数

平成11年度は、100名の青年を同時期に受け入れた。

イ　招へい対象者

以下の分野の指導的立場にある18～35歳の青年。

(ｱ) 青年指導者・公務員　25名
　国家・地方公務員、青少年育成団体職員、等

(ｲ) 勤労青年（事務系）　25名
　会社員（主にサービス業）

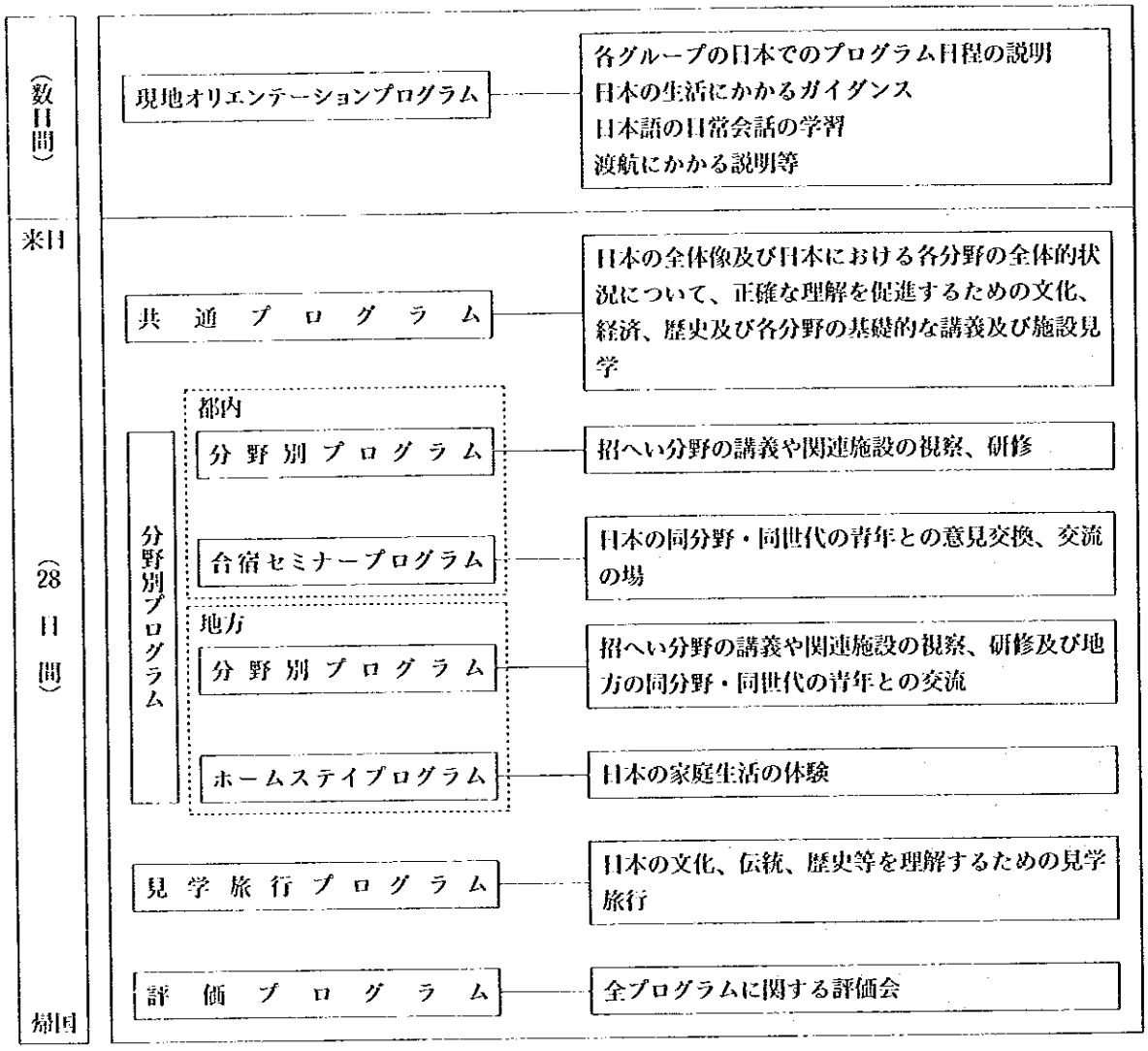
(ｳ) 教員（高等学校）　25名
　教諭

(ｴ) 学生（人文・社会系）　25名
　人文・社会分野専攻学生

ウ　招へい期間

7月7日から8月3日までの28日間。

(3) プログラム概要

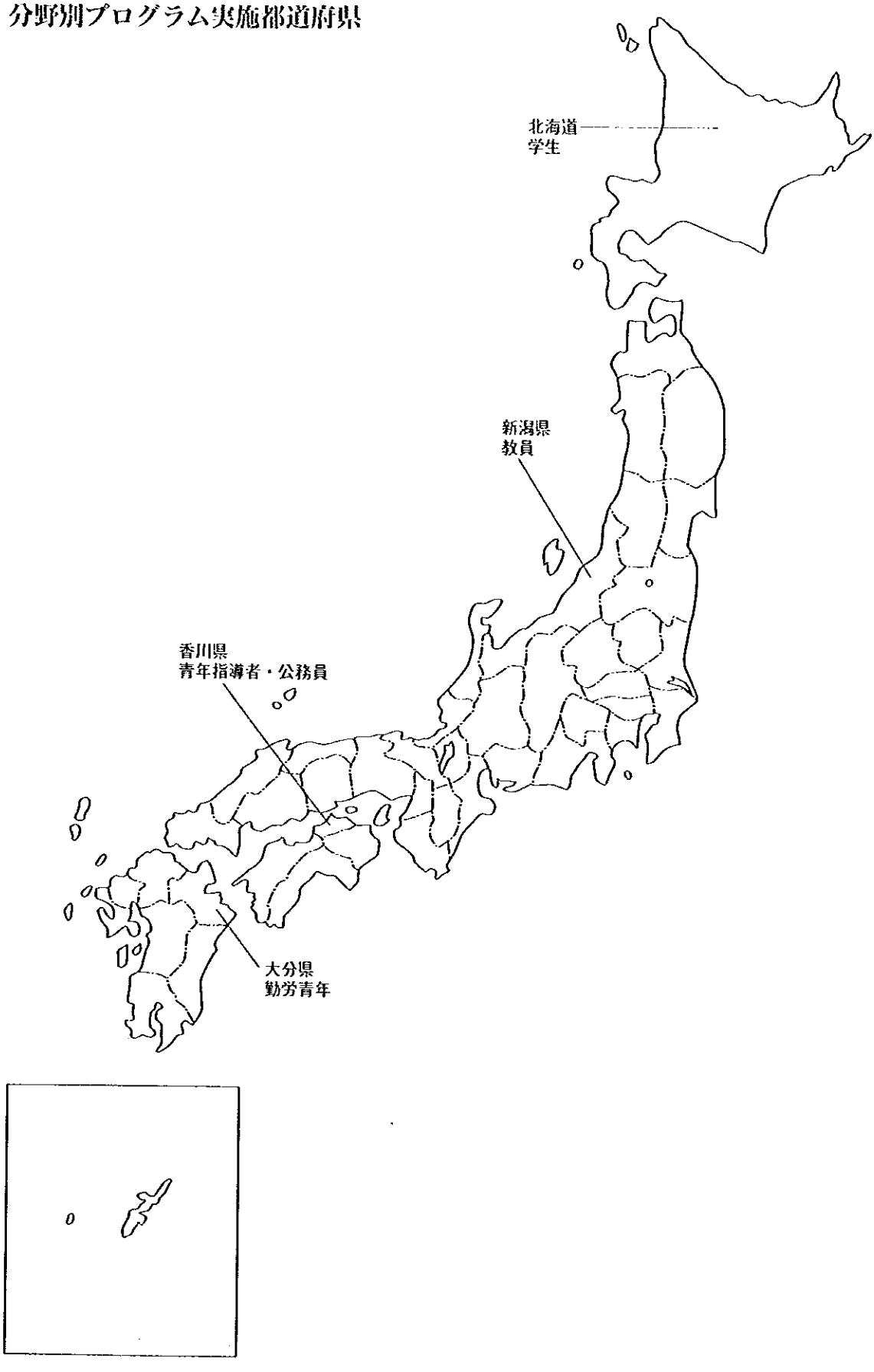


1-2 招へい実績

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	(社)青少年育成国民会議	香川	(財)香川県国際交流協会
勤労青年(事務系)	25	(社)勤労厚生協会	大分	大分県海外協会
教員(高等学校)	25	(財)日本ユースホステル協会	新潟	(財)新潟県国際交流協会
学生(人文・社会系)	25	(財)世界青少年交流協会	北海道	(社)滝川国際交流協会

＊共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

分野別プログラム実施都道府県



2. 招へい青年の印象

日本研修を終えて

崔　文禧
（青年指導者・公務員グループ）

見学旅行から帰ってきた時、バスの中から「あっ、大阪国際センターだ」というううれしそうな声を聞き、初めて大阪国際センターに到着した日のことが思い出された。言葉も通じないところで見知らぬ人々と過ごす1カ月に対する不安は、たぶん私一人だけの思いではなかったはずだ。

しかし見学旅行から戻ってきた今は、来日時の心配に代わって、日本人の心の温かさが私を満たしている。

東京での合宿セミナーでは、言葉は片言だったが、手と足、瞳と心でたくさん話し合った。ホームステイはとても不安だったが、ホストファミリーはわが家のように温かく、くつろげるようにしてくださった。

今までの私は、日本はただ単に外国の一つでしかなったが、出会ったすべての日本人からもらった心というプレゼントによって、日本人を友人のように感じるようになった。

私は今、多くの人々に対して感謝の気持ちでいっぱいである。私たちの口と耳の代わりになってくれた美しく可愛い、美美さんとミナさん、そして1カ月間、有意義なプログラムの計画と進行に尽力してくださった協力団体の方々、接する機会は少なかったけれど、陰でこの事業を支えてくださったJICAと韓国文化観光部に心から感謝の言葉を言いたい。ありがとうございました。

日本での印象

金　恩希
（勤労青年グループ）

『菊と刀』『日本入門のキーワード33』『日本の大衆文化』『茶道と日本文化』『日本的自我』『雪国』……。これらは、私が文化観光部の青年招へい事業への参加者に決まった後に読んだ本の題名である。

日本人の本音まで深く知っていれば、これらの本の内容を十分に理解できるであろうが、私が今回、1カ月の滞在を通して感じた日本は、これらの本とは少し違う。

私の受けた日本の印象は、韓国で1999年夏に公開された「マトリックス」という映画とよく似ている。コンピューターを利用した完璧な地球プログラム。厳格でありながら合理的な規則・体系・秩序の中で、日本人は集団主義とエゴイズムを絶妙に調和させながら、高次元的な生き方を追求する。

正直言って、日本には学びたいと思う部分がとても多い。そのような思いが時にはジェラシーとなり、また時には敵意として現れたこともあった。

私たちの先祖は、お客様を迎える時、いつでも最上の料理と微笑みで迎えた。私はこうしたもてなしを1カ月間、日本人から受けたという印象をもった。

先進国としての日本

金　榮鎬
(教員グループ)

私の、日本を訪問する前の日本に対するイメージは、「国家は豊かだが国民は貧乏である」「模倣することが好きな国」「韓国を侵略した国」「歪曲された性文化が氾濫する国」等、断片的に知っているいくつかの事実を羅列する程度の知識に過ぎなかった。だから、日本での研修に参加することに、それほどの感興もわいてこなかった。それで、大都市の大阪、東京が清潔で都市整備が優れているのを見て、これが先進国という面貌かなという程度の思いだった。

しかし、地方プログラムに参加して、さらに私の日本に対する考えが整理できた。新潟市、見附市は規模は小さいものの、図書館、消防署、道路、商店等の都市の基盤となる施設が十分に備わっていた。どこに行っても基本的な生活の水準が守られている。また、地方でもこの青年招へい事業のようなプログラムが行われることで、国際化が進んでいる。

これが先進国・日本なのであろう。

日本研修を振り返ってみて

李　明玉
(学生グループ)

28日間の日本での研修を振り返ってみると、私たち25人の学生たちは、自分なりに日本について多くのことを経験し、さまざまな日本文化などを感じることができた。

私自身もまた、多くの日本人との出会いを通じて、当初抱いていた期待感や恐れは、ささやかではあるが、日本や日本人に対する理解に変わった。そこで得た多くの友人やコーディネーターの方々、日本のホストファミリーの方々との出会いは、今回の研修における大きな財産の一つであったと思う。

また、このような研修プログラムをはじめとして、日本と韓国の交流を通じた対話と理解により、ともに21世紀のパートナー的な立場に立っていかなければならないと感じるようになった。

最後に、今回のプログラムを準備してくださったすべての方に感謝し、25人の仲間たちにも感謝の言葉を捧げるとともに、今後、持続的な日韓交流と、今よりもっと日韓政府が交流に関心を寄せてくることを希望するものである。

3. 合宿セミナー参加日本青年の声

終わった後こそ大切に

小島　尚貴
（学生）

合宿セミナーに、韓国で青少年指導に携わっている方々が参加するのを知った時、興味がわいてきた。私は、韓国は何度も訪れたことのある国で、経済発展の過程がわが国と似た点もある分、問題も類似したものを抱えていることを、実際に見聞して感じ、本などでもいくらか知っていたが、一番社会問題の影響を受ける青少年を直に指導している方々とお会いして、「国家の理想と自分の生きがいが直結している、立派な方々が多い」と感じた。

両国間の問題やその解決策は、比較し合うことで多角的に考察でき、参考にできると思った。あえて要求を言えば、各グループの討議内容や提案を小冊子にまとめたり、全体発表の雰囲気をもう少し真剣なものにすれば、さらにメリハリがついていいと思う。

韓国は近い？遠い？

榎本　奈津子
（公務員）

韓国は〝遠くて近い国〟とよく言われるが、たくさんの情報がある中で、私たちがそのことを〝実感〟する機会はあまりない。本で読み、頭の中で考えて蓄えた知識も、体験に裏打ちされた〝実感〟を伴ってこそ深い理解につながるのだと思う。

合宿セミナーでスポーツをしたり、お酒を酌み交わしたりしながらの会話から、日本と韓国の違いと共通点、ありのままのお互いの姿を〝実感〟することができた。

日本と韓国の、文化、価値観には差異があること、しかし、同世代の青年としての感覚・価値観には差異はないこと、の二つを実感し、理解できたことは、〝近くて近い〟国となるには何が足りなかったのかを考えるためには役に立っていくと思う。でも、韓国の青年たちは、ちっとも遠くなかった。

心の交流

室木　優理
（教員）

恥ずかしいことだが、隣の韓国について、今まで私はあまり関心を払わずに過ごしてきた。近すぎた故に興味の対象にならなかったからか、はたまた、日韓は歴史の上でいろいろと難しい問題を抱えているという漠然とした意識が、不勉強な私を韓国に対する眼差しから遠ざけていたからなのか。

そんな私に大きな変化をもたらしたのが、韓国の青年たちと過ごした3日間の合宿セミナーだった。スポーツ交流では、お互いの気持ちを一つにして楽しい汗を流し、分科会では互いの国に理解を深めようと意見を交わした。食事をしながらの談話では、言葉の不自由さにもかかわらず、「同じ思いを分かち合いたい」という思いを伝え合った。

彼らの熱く誠実な人柄に触れた3日間を経て、再び彼らに会いに行く日を心待ちにする自分に、私は気が付いている。

日韓学生合宿セミナーに参加して

田村　洋平
（学生）

日韓学生セミナーに参加したことは、私の19年間生きてきた中で、最高の思い出となった。初めのうちはディスカッションのための勉強会がつらくて、何度も挫折しかかったが、合宿セミナーを終えた今、感動で胸がいっぱいである。

日本人だけでなく、韓国人の友達もたくさんできた。短い期間だったので、参加者全員と満足いくまで話せたわけではないが、兄弟のように仲良くした人たちが何人かいて、そういう友達ができたことだけでも実りある合宿セミナーだったと思う。

来年もぜひ、このような合宿セミナーに参加したいと考えている。このような貴重な機会を与えていただき、たいへん感謝している。ありがとう。

4. ホストファミリーの思い出

お隣さん、こんにちは！

高橋　義文・勝子
（香川県）

日本から一番近い外国、お隣さんの韓国からのお客様、ようこそわが家へいらっしゃいました。韓国の文化や食生活は、メディアを通じてたくさん日本に入ってきて私たちも知っているので、私たち夫婦はリラックスして青年を受け入れた。

しかし、ハングル語の辞書を片手に身振り手振りのコミュニケーションは、思ったより通じなくて大変だった。彼女は英語が少し話せるとのことなので、ハングル語、日本語、英語が入り交じってのにぎやかな楽しい毎日となった。

彼女は社会福祉に興味を持っていたので、福祉施設を３カ所案内した。彼女は生まれて初めての外国でのホームステイとのことで、私は彼女にいろいろ知ってもらいたい、そして私はいろいろ知って向上したいという思いがあった。それには、３日間は短く、心残りだ。

2002年のサッカーワールドカップ共同開催にも、一層関心が高まり、チャンスがあれば、ぜひ韓国に行きたいと思っている。

朴秀美さんは着物美人

鈴木　寛子
（大分県）

わが家にお迎えしたのは、江陵大学の図書館に勤めている、可愛い朴秀美さんだった。ちょうど、大分県国際交流課の依頼でわが家に滞在していたアイルランド出身のキャロラインさんと一緒になり、孫たちも大喜びだった。

私は、二人に日本の伝統文化を味わっていただこうと思い、二人に着物を着せて茶会を催した。孫たちも自分で焼いた茶碗を持って参加した。

朴さんは驚くほどの着物美人で、日本語も何一つ不自由することはなかった。

たまたま市の文化会館で催されていた吹奏楽コンクールをのぞいてみたら、あつらえたように韓国のアリランとアイルランドの民謡が演奏された。その後は、別府温泉で裸のお付き合い。

わが家にはまた、可愛い親戚ができた。

「スミちゃん、新婚旅行は別府にいらっしゃい」

ムクゲの花と共にやってきた李さん

橋本　瑞江
（新潟県）

韓国の国花であるムクゲの花が家々の庭先で色とりどりに咲き誇る夏に、李さんがわが家にホームステイした。

わが家では、玄関、床の間に花を生けて李さんを迎えた。

わが家でホームステイを受け入れるのは初めての

経験だった。家族の「言葉の壁は身振り手振りで何とかなる」という前向きの姿勢に力づけられ、何か新しい風が家に吹き込んでくるだろうと喜んでいた。家族の普段見えなかった、意外な一面も知ることができたのだった。

李さんは高校の音楽教師で、2泊目の夜には歌を歌ってくれた。後日、近所でも〝よく聞こえた〟と、李さんの歌が評判になった。

短い時間ではあったが、李さんは韓国の風習、生活習慣を、私たちに教えてくださった。

心地よい風が吹いた夏の数日だった。

「ありがとう」のひと言

横溝　初子
（北海道）

ホームステイを受け入れる日、迎えに行った車中で「私たちをお父さん、お母さんと思ってね。私もあなたのことを娘と思っていますよ」と金貞姫さんに言った。その時から、彼女はすっかり打ち解けて、わが家の娘を「お姉ちゃん」と呼び、姉妹のように楽しそうに話していた。

最後の日、彼女は娘にチマ・チョゴリを着せてくれ、写真を撮ったり、女同士でおしゃれの話などをして楽しい時間を過ごしていた。別れる時のことを思うと辛くなるほどに、二人は仲良くなっていた。

見送りの日、いろいろ話したいことはあるのに、ただ手をしっかり握り合うだけで、言葉にはならなかった。バスに乗った彼女が窓越しに、声は聞こえなかったが、「ありがとう」と言うのが分かり、私は今までこらえていた涙があふれてしまった。バスが動き出し、彼女も目にいっぱい涙をためて、お互いに見えなくなるまで目で追っていた。

初めてのホストファミリーだったが、本当に素晴らしい出会いを感謝している。

実績資料

1．韓国青年招へい実績一覧

●平成７年度（98名）

分　野　名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	㈳国際交流サービス協会	新　潟	㈶新潟県国際交流協会
勤労青年	23	㈳勤労厚生協会	埼　玉	上尾市国際交流推進委員会
教員	25	㈶日本ユースホステル協会	福　井	㈶福井県国際交流協会
学生	25	㈶世界青少年交流協会	秋　田	秋田県世界青年友の会

●平成８年度（100名）

分　野　名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	㈶日本ユースホステル協会	愛　媛	㈶愛媛県国際交流協会
勤労青年	25	㈳勤労厚生協会	滋　賀	滋賀県青年団体連合会
教員	25	㈳国際交流サービス協会	茨　城	平成８年度茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生	25	㈶世界青少年交流協会	秋　田	㈶秋田県国際交流協会

●平成９年度（97名）

分　野　名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	㈶日本ユースホステル協会	長　崎	長崎県ユースホステル協会
勤労青年(事務系)	24	㈳勤労厚生協会	北海道	㈳滝川国際交流協会
教員(小学校)	23	㈶世界青少年交流協会	茨　城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生(人文・社会系)	25	㈳青年海外協会協会	熊　本	熊本県青年海外協力協会

●平成10年度（99名）

分　野　名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	24	㈶日本ユースホステル協会	群　馬	㈶群馬県国際交流協会
勤労青年(技術系)	25	㈳勤労厚生協会	北海道	㈳帯広青年会議所
教員(中学校)	25	㈳国際交流サービス協会	茨　城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生(理工系)	25	㈶世界青少年交流協会	北海道	㈳滝川国際交流協会

●平成11年度（100名）

分　野　名	人数	実施協力団体	実施都道府県	地方実施協力団体
青年指導者・公務員	25	㈳青少年育成国民会議	香　川	㈶香川県国際交流協会
勤労青年(事務系)	25	㈳勤労厚生協会	大　分	大分県海外協会
教員(高等学校)	25	㈶日本ユースホステル協会	新　潟	㈶新潟県国際交流協会
学生(人文・社会系)	25	㈶世界青少年交流協会	北海道	㈳滝川国際交流協会

＊共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

2．平成11年度青年招へい実績一覧

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方実施協力団体
5月12日 ～ 6月8日 1陣46人	タイ	教員	23	(社)国際交流サービス協会	山梨	(財)青少年育成山梨県民会議
	タイ	農業	23	日本青年団協議会	岡山	(財)岡山県青年館
5月12日 ～ 6月8日 2陣75人	フィリピン	教員	23	(財)日本ユースホステル協会	群馬	(財)群馬県国際交流協会
	フィリピン	農業	23	(財)岩手県国際交流協会	岩手	(財)岩手県国際交流協会
	フィリピン	経済経営	29	(社)勤労厚生協会	栃木	(財)栃木青年会館
5月19日 ～ 6月15日 3陣30人	パプア・ニューギニア	教員	20	(社)日本経済青年協議会	石川	小松市国際交流協会
	パプア・ニューギニア	公務員	10	(社)青年海外協力協会	奈良	(社)まちづくり国際交流センター
5月19日 ～ 6月15日 4陣100人	中国	青年指導者	25	(社)青少年育成国民会議	大阪	(財)大阪府青少年活動財団
	中国	経済青年	25	(財)ユースワーカー能力開発協会	富山	(財)とやま国際センター
	中国	公務員	25	(財)日本ユースホステル協会	三重	(財)三重県国際交流財団
	中国	教員	25	(財)日本友愛青年協会	徳島	徳島県青年海外派遣の会
5月26日 ～ 6月22日 5陣92人	マレイシア	教員	25	(社)国際交流サービス協会	福井	(財)福井県国際交流協会
	マレイシア	農業	21	(財)世界青少年交流協会	秋田	(財)秋田県国際交流協会
	インドネシア	教員	23	(社)勤労厚生協会	山形	山形県青年海外協力協会
	インドネシア	農業	23	(社)青年海外協力協会	福岡	(社)青年海外協力協会九州支部
6月23日 ～ 7月20日 6陣40人	フィリピン	行政	20	(財)世界青少年交流協会	茨城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
	フィリピン	地域振興	20	(社)日本経済青年協議会	北海道	千歳国際交流協会
6月30日 ～ 7月27日 7陣97人	ASEAN混成	教育	24	(社)日本国際生活体験協会	埼玉	上尾市国際交流協会
	ASEAN混成	経済	25	(社)青少年育成国民会議	福岡	(社)九州・山口経済連合会
	ASEAN混成	保健衛生	24	(財)国際看護交流協会	愛知	(財)国際看護交流協会
	ASEAN混成	社会福祉	24	(財)札幌国際プラザ	北海道	(財)札幌国際プラザ
7月7日 ～ 8月3日 8陣100人	韓国	青年指導者・公務員	25	(社)青少年育成国民会議	香川	(財)香川県国際交流協会
	韓国	勤労青年(事務系)	25	(社)勤労厚生協会	大分	大分県海外協会
	韓国	教員(高等学校)	25	(財)日本ユースホステル協会	新潟	(財)新潟県国際交流協会
	韓国	学生(人文・社会系)	25	(財)世界青少年交流協会	北海道	(社)滝川国際交流協会
7月14日 ～ 8月10日 9陣49人	ヴィエトナム	経済	24	(財)日本国際協力センター	愛媛	(財)愛媛県国際交流協会
	ヴィエトナム	農業	25	(社)青年海外協力協会	和歌山	(社)和歌山県青少年育成協会
7月14日 ～ 8月10日 10陣92人	ASEAN混成	科学技術	24	(財)豊川市国際交流協会	愛知	(財)豊川市国際交流協会
	ASEAN混成	環境保全	24	(社)日本経済青年協議会	北海道	釧路市海外青年招へい事業実行委員会
	ASEAN混成	公共・公益事業	24	(社)国際交流サービス協会	岐阜	岐阜県世界青年友の会
	ラオス	地域開発	20	(財)高知県国際交流協会	高知	(財)高知県国際交流協会
8月18日 ～ 9月14日 11陣40人	バングラデシュ	保健医療	20	(財)国際看護交流協会	島根	島根県国際交流青友会
	パキスタン	公務員(開発部門)	20	(社)青年海外協力協会	香川	香川県海外派遣友の会
9月23日 ～ 10月20日 12陣29人	スリ・ランカ	教育(小中高教員)	10	(財)愛知県国際交流協会	愛知	(財)愛知県交際交流協会
	ブータン/モルディヴ	教育(小中高教員)	10	(財)日本国際協力センター	佐賀	佐賀ユネスコ協会
	ネパール	教育(学校経営)	9	(社)駒ヶ根青年会議所	長野	(社)駒ヶ根青年会議所
10月13日 ～ 11月9日 13陣100人	中国	人材育成	25	(社)青少年育成国民会議	石川	(財)石川県ユースホステル協会
	中国	経済開発	25	(社)勤労厚生協会	大阪	(財)太平洋人材交流センター
	中国	地域振興	25	(財)ユースワーカー能力開発協会	徳島	徳島県日中青年交流協会
	中国	産業基盤整備	25	(社)国際善隣協会	滋賀	滋賀県青年団体連合会

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方実施協力団体
11月3日 ～ 11月30日 14陣50人	カンボディア	経済	30	(財)日本ユースホステル協会	北海道	とまこまい国際交流センター
	サウディ・アラビア	教育(小中高教員)	20	(社)青年海外協力協会	岡山	岡山青年国際交流会
11月10日 ～ 12月7日 15陣75人	アフリカ(仏語圏)	女性教員	24	(財)世界青少年交流協会	青森	青森県青年海外協力協会
	アフリカ(仏語圏)	理数科教員	25	(財)大阪府国際交流財団	大阪	(財)大阪府国際交流財団
	アフリカ(仏語圏)	保健衛生	26	(財)日本国際協力センター	岡山	津山と世界を結ぶ会
11月17日 ～ 12月14日 16陣50人	インド	教育(理数科教員)	30	(財)世界青少年交流協会	北海道	十勝インターナショナル協会
	ミャンマー	教育	20	(社)日本ユネスコ協会連盟	神奈川	鎌倉ユネスコ協会
11月24日 ～ 12月21日 17陣56人	太平洋混成	公務員	22	(社)日本経済青年協議会	山口	(財)山口県国際交流協会
	太平洋混成	教員	22	(社)日本国際生活体験協会	山口	世界青年徳山友の会
	フィジー	公務員	12	(財)日本国際協力センター	兵庫	(財)神戸国際協力センター
11月24日 ～ 12月21日 18陣 120人	中国	小学校教員1	24	(社)勤労厚生協会	鳥取	とっとり青友会
	中国	小学校教員2	24	(財)日本ユースホステル協会	宮城	宮城県ユースホステル協会
	中国	中学校教員	24	(社)青少年育成国民会議	沖縄	(社)沖縄県青少年育成県民会議
	中国	高校教員1	24	(社)青年海外協力協会	愛媛	愛媛県青年海外協力協会
	中国	高校教員2	24	(財)世界青少年交流協会	長崎	長崎県世界青年友の会
1月12日 ～ 2月8日 19陣69人	タイ	経済経営	23	(社)勤労厚生協会	愛知	ジャパンヤングサークル東海支部
	タイ	行政	23	(社)国際交流サービス協会	鹿児島	(財)鹿児島県国際交流協会
	タイ	地域振興	23	(財)世界青少年交流協会	兵庫	(財)兵庫県青少年本部
1月12日 ～ 2月8日 20陣51人	ヴィエトナム	教育	26	(財)ユースワーカー能力開発協会	宮崎	ユースワーカー能力開発協会宮崎県支部
	ヴィエトナム	公務員	25	(財)日本国際協力センター	千葉	(財)千葉県国際交流協会
1月19日 ～ 2月15日 21陣35人	中央アジア混成	経済	25	(財)日本ユースホステル協会	北海道	北海道YMCA
	モンゴル	地方行政官	10	(財)世界青少年交流協会	福島	にほんまつ地域市民の会
1月19日 ～ 2月15日 22陣51人	中南米混成	社会福祉	28	(社)青年海外協力協会	熊本	熊本県青年海外協力協会
	中南米混成	教員	26	(社)日本国際生活体験協会	沖縄	(財)沖縄県国際交流財団
1月26日 ～ 2月22日 23陣68人	インドネシア	経済経営	23	(社)日本経済青年協議会	静岡	沼津国際交流協会
	インドネシア	行政	23	(社)青少年育成国民会議	福島	福島県青年海外派遣友の会
	インドネシア	地域振興	22	(社)勤労厚生協会	福岡	福岡県海外青年招へい事業実行委員会
2月2日 ～ 2月29日 24陣69人	アフリカ(英語圏)	女性教員	24	(財)ユースワーカー能力開発協会	京都	(社)青年海外協力協会近畿支部
	アフリカ(英語圏)	理数科教員	23	(社)青年海外協力協会	北海道	青年海外協力隊北海道OB会
	アフリカ(英語圏)	保健衛生	22	(社)青少年育成国民会議	静岡	(財)静岡県国際交流協会
2月9日 ～ 3月7日 25陣68人	マレイシア	経済経営	21	(社)国際交流サービス協会	広島	しょうばら国際交流協会
	マレイシア	行政	25	(財)日本ユースホステル協会	広島	(財)広島青少年文化センター
	マレイシア	地域振興	22	(財)世界青少年交流協会	富山	富山県世界青年友の会
合計	73グループ 107カ国・地域 1,655人	カンボディア(30)　インドネシア(149)　ラオス(34)　マレイシア(149)　ミャンマー(20) フィリピン(150)　タイ(150)　ヴィエトナム(115)　太平洋14カ国・地域(86) 中国(320)　韓国(100)　南西アジア7カ国(99)　モンゴル(10) アフリカ49カ国(144)　中南米20カ国(54)　サウディ・アラビア(20) 中央アジア5カ国(25)				

청년 초청 사업

머 리 말

「청년초청사업」은 국제협력사업단 (JICA) 이 개발도상국을 대상으로 실시하는 기술협력의 일환으로 장래의 국가건설을 담당하게 될 청년들을 전문분야별로 약 일개월동안 일본에 초청하여 각분야에 관한 전면적인 이해는 물론, 홈스테이 가족들과의 폭넓은 교류를 통하여 상호이해를 돈독히 하고 신뢰와 우정을 배양하는 것을 목적으로 하는 사업입니다.

초청국은 처음에는 아세안6개국에 국한되어 있었습니다만, 현재는 120개국 이상으로 확대되었으며, 1984년도에 사업을 시작한 이후 16년동안에 일본을 방문한 각국의 청년은 19,849 명에 이르고 있습니다. 이것은 관계자 여러분들의 협력과 우정어린 지원 덕분이며 마음속 깊이 감사의 말씀을 올리는 바입니다.

본 보고서는 초청청년 합숙세미나에 참가하였던 일본청년 및 홈스테이를 받아주신 전국의 홈스테이패밀리 여러분들이 보내주신 감상문을 중심으로, 초청청년들의 체재기록을 엮은 것입니다. 이 보고서가 본사업의 보다 큰 발전을 위한 지침서가 되고 또한 여러분들의 좋은 추억이 되었으면 하는 바램입니다.

또한 본 보고서는 금년도에 참가하신 모든 초청청년 및 각국의 관계자 여러분들께도 보내드릴 예정입니다.

마지막으로 마음이 훈훈해지는 감상문과 의견을 보내주신 분들, 관계자 여러분들께 거듭 깊은 감사를 드리며, 청년초청사업이 더욱더 뜻깊은 프로그램이 될수 있도록 앞으로도 많은 협력을 부탁드리는 바입니다.

2000년3월
국제협력사업단
국내사업부
부장 이마즈 다케시

차 례

머리말

1. 대한민국 청년 초청사업

1-1 개요 ····· 31

1-2 사업 실적 ····· 32

2. 초청 청년 감상문 ····· 35

3. 합숙세미나 참가 일본청년의 말 ····· 37

4. 홈스테이 가정이 느낀 인상 ····· 39

〈실적자료〉

1. 대한민국 청년 초청사업 실적 일람 ····· 43

2. 1999년도 청년 초청사업 실적 일람 ····· 44

1. 대한민국 청년 초청사업

1-1 개요

(1) 목적

21세기를 향하여, 한국과 일본의 우호와 협력관계를 보다 확고하고도 알찬 관계로 만들기 위해, 미래의 국가 건설을 담당하게 될 한국청년을 일본에 초청하여, 일본의 동세대 청년들과의 교류를 통해 상호이해를 돈독히 하고 참된 우정과 신뢰를 배양하는 것을 목적으로 한다.

(2) 실시 방법

(가) 초청 인원수

1999년도는 100명의 청년을 동시기에 초청한다.

(나) 초청 대상자

아래 분야에서 지도적 입장에 있는 18~35세의 청년.

(가) 청년지도자 · 공무원 25명

국가 · 지방공무원, 청소년 육성단체 직원 등

(나) 근로청년(사무계) 25명

회사원(주로 서비스 산업)

(다) 교원(고등학교) 25명

고등학교 교원

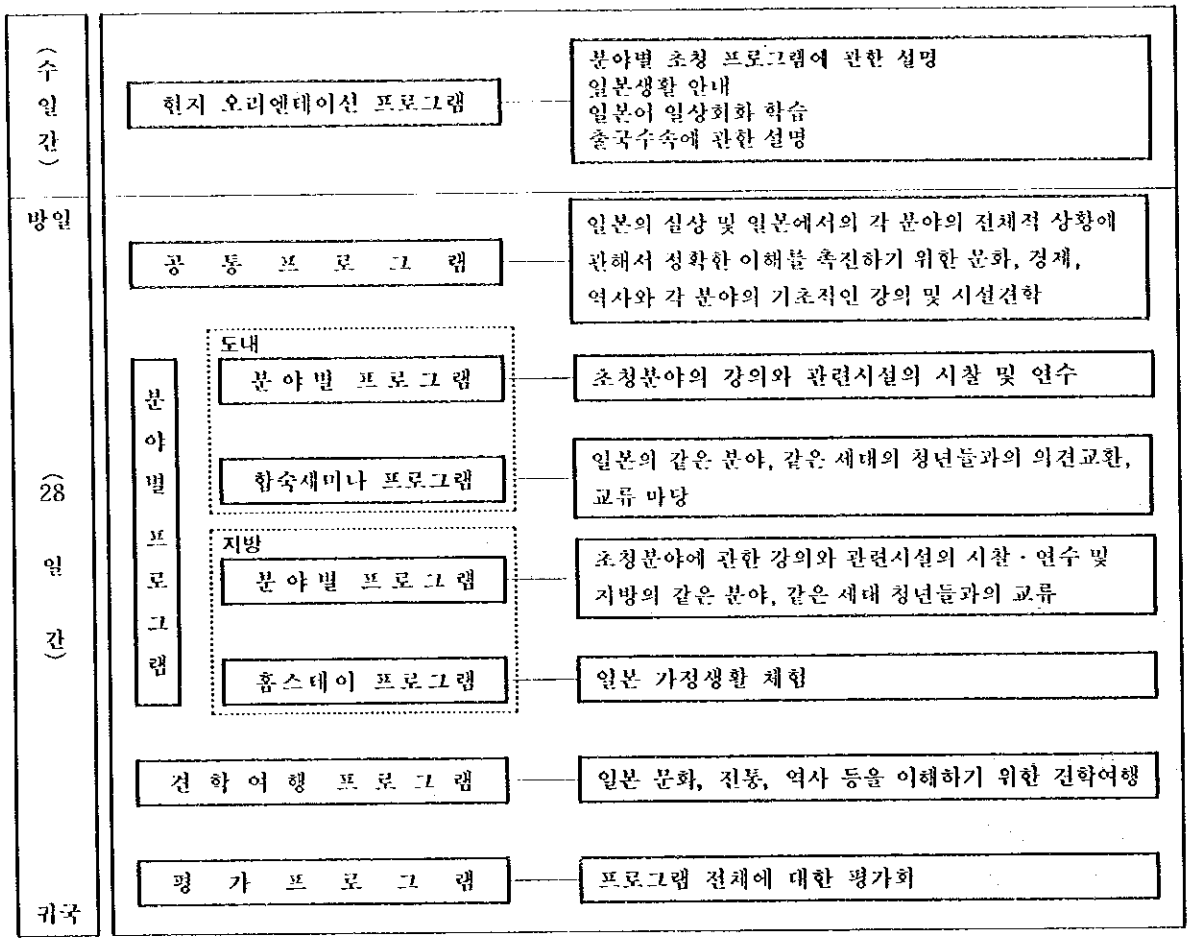
(라) 학생(인문 · 사회계열) 25명

인문 · 사회분야 전공학생

(다) 초청기간 및 시기

7월 7일부터 8월 3일까지 28일간

(3) 프로그램 개요.

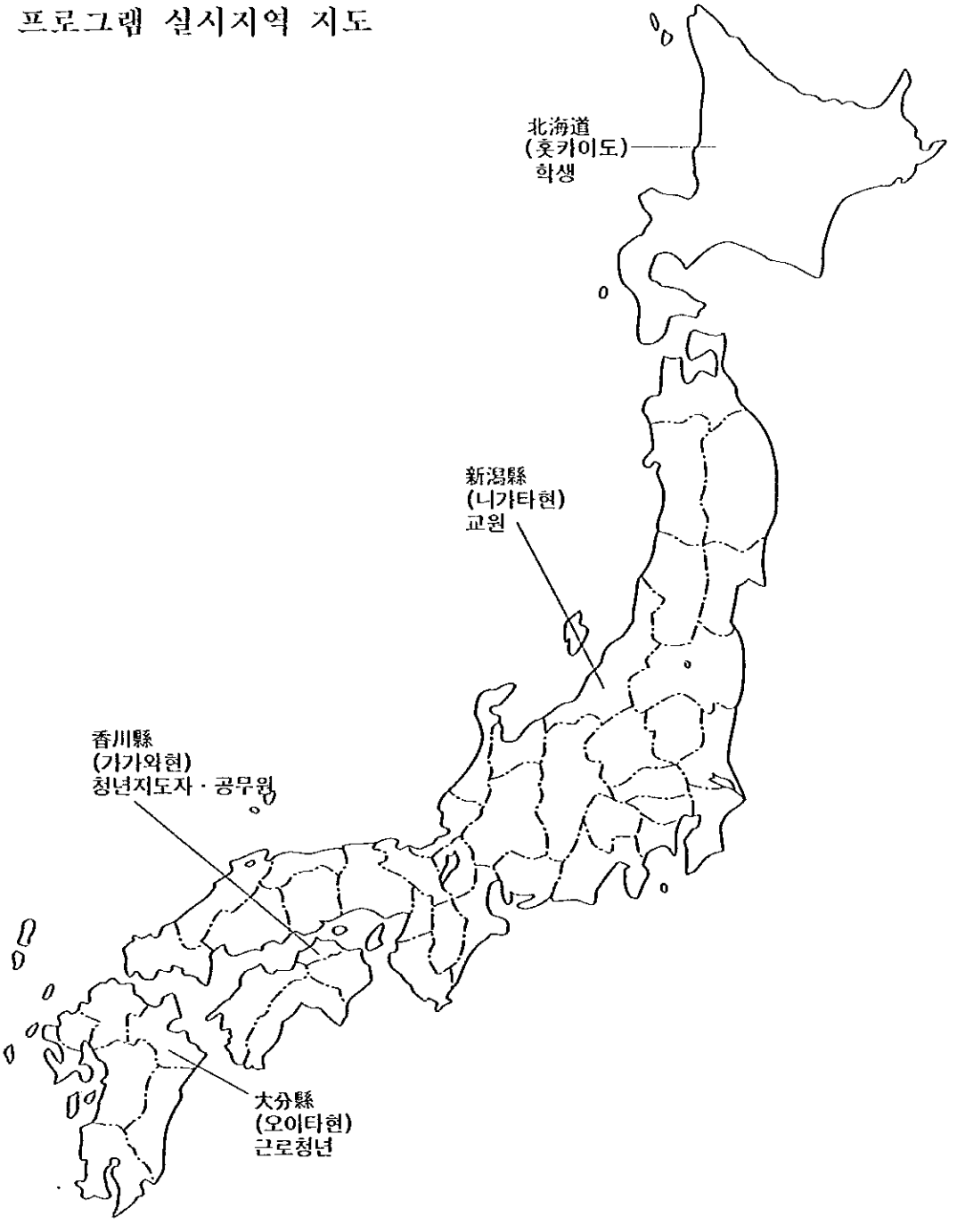


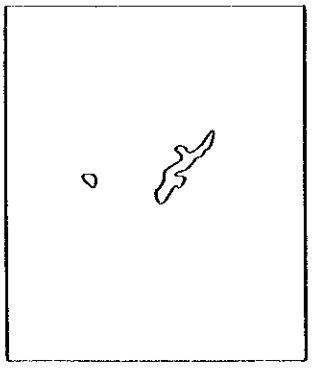
1-2 사업 실적

분야면	인수	실시협력단체	실시지역	지반협력단체
청년지도자·공무원	25	(사) 청소년 육성 국민회의	가가와	(재)가가와현국제교류협회
근로청년(사무계)	25	(사) 근로 후생 협회	오이타	오이타현 해외협회
교원(고등학교)	25	(재) 일본 유스호스텔 협회	니가타	(재)나가타현 국제교류협회
학생(인문·사회계열)	25	(재) 세계 청소년 교류 협회	홋카이도	(사)타키가와 국제교류협회

*공통 · 평가프로그램은 일본국제협력 센터가 전그룹을 대상으로 실시.

분야별 프로그램 실시지역 지도





2. 초청 청년 감상문

일본 연수를 마치고

최 문희
(청년지도자 · 공무원 그룹)

버스안에서 "아! JICA 다" 하는 반가운 소리에 문득 처음 JICA에 도착한 그때가 생각났다. 말도 통하지 않는 곳에서 낯선 사람들과 보낼 한달에 대한 걱정은 아마도 나 혼자만의 생각은 아니었을 것이다. 그러나 JICA를 다시 찾은 지금은 처음의 걱정대신 마음속에는 일본사람의 정이 한아름이다.

동경 합숙세미나에서 말은 서툴지만 손과 발, 눈과 마음으로 나눈 많은 이야기, 가장 큰 두려움속에 시작된 홈스테이였지만 내집처럼 따뜻하고 편안하게 맞아준 잊지못할 친구들 등 모두에게서 받은 마음의 선물은 그동안 일본이라는 나라만을 생각했던 나에게 일본사람, 친구를 느끼게 해준 값진 날이었다.

그동안 처음부터 우리의 입과 귀를 대신해준 아름답고 귀여운(?) 우리의 보디가드, 미미, 미나선생께 고마운 마음을 전하고, 한달동안 유익한 프로그램 계획 · 진행에 힘써주신 실시협력단체분들, 함께하지는 않았지만 보이지 않는 든든한 힘이 되어 주신 JICA와 문광부에 깊은 감사를 드립니다. 감사합니다.

일본에서 받은 인상

김 은희
(근로청년 그룹)

"국화와 칼", "일본입문 키워드33", "일본의 대중문화", "다도와 일본문화", "일본적 자아", "설국"…. 이것은 내가 문화관광부의 '청년초청사업' 참가자로 확정된 후에 책장속에서 꺼내 읽었던 책들의 제목이다.

일본의 속내까지 깊이 알면 책속의 그것을 이해할 수 있겠지만, 내가 딱 한달간 경험한 일본의 겉내는 조금 다르다. 일본의 움직임은 올여름 개봉한 블록버스터 영화인 <매트릭스>의 모습과 닮았다. 컴퓨터를 이용한 완벽한 지구 프로그램. 엄격하면서도 합리적인 규칙속에서, 체계속에서, 질서안에서, 일본인들은 집단주의와 이기주의를 절묘하게 조화시키며 고차원적인 삶을 추구한다.

솔직히 일본에는 닮고싶은 모습들이 너무 많다. 그런 마음이 누구에게는 질투의 감정으로 표현되기도 했고, 때로는 적의로까지 와전되기도 했다. 우리 선조들은 손님을 언제나 최상의 음식과 마음가짐과 미소로서 맞이했다. 그것을 나는 한달간 일본인들에게서 받았다는 느낌을 받는다.

선진국으로서의 일본

김 영호
(교원 그룹)

일본을 방문하기 전 일본에 대한 생각은 '국가는 부유하고 국민은 가난하다. 모방을 좋아한다. 한국을 침략한 나라이다. 왜곡된 성문화가 판치는 나라이다.'는 정도의 들어온 몇가지 단상이 나열되는 정도였다. 그래서 일본에서 연수하는 것이 썩 내키는 것도 아니었고 그저 그랬을 뿐이다. 오사까, 도쿄를 보았을 때 깨끗하고 도시기반시설이 잘 갖추어짐을 보고 '이것이 선진국다운 면모인가' 했다. 그러나 지방프로그램으로 생각이 다소 정리된다. 니가타시, 미츠케시는 규모만 작아질 뿐 도서관시설, 소방서, 도로, 상점 등 도시기반시설이 충분히 갖추어져 있었다. 어느곳이나 기본적 삶의 수준이 지켜지며 지방에서도 이러한 프로그램으로 국제화가 진행되는 이것이 선진국 일본인가 보다.

일본 연수를 돌이켜보며

이 명옥
(학생 그룹)

28일간의 일본연수의 끝에서 돌이켜보면 우리 25명의 학생들은 나름대로 일본에 대한 많은 체험과 문화 등을 느낄수 있었다. 나 역시도 많은 일본인과 일본과의 만남을 통해 처음 가졌던 기대와 두려움은 조금이나마 일본과 일본인에 대한 이해로 변했으며 많은 친구들과 선생님들, 일본의 가족들은 이번 연수의 큰 재산 중의 하나로 생각된다.

그리고, 이런 연수 프로그램을 비롯한 많은 한일간의 교류를 통해 대화와 이해로 21C의 동반자적 입장을 함께 해야 함도 느끼게 되었다.

끝으로 이번 프로그램을 준비해 주신 모든 분들에 대해 감사를 드리고 25명의 친구들에게도 고맙다는 인사와 함께 앞으로의 지속적인 한일 교류와 좀더 관심있는 한일 정부의 관심을 조심스럽게 요구하고 싶다.

3. 합숙세미나 참가 일본청년의 말

끝난 후야 말로 소중하게

고지마 나오타카
(학생)

한국에서 청소년지도에 종사하는 분들이 합숙세미나에 참가한다는 것을 알고 흥미를 느꼈다. 한국은 수차례 방문해 본 나라이고 경제발전 과정이 일본과 비슷한 만큼 유사한 문제점을 안고 있음을 체험으로 느꼈으며 책을 통해서도 어느 정도는 알고 있었다. 사회문제의 영향을 가장 많이 받는 청소년들을 직접 지도하고 있는 분들과 만나 "국가의 이상과 자신의 보람을 함께 하고 있는, 훌륭한 분들이 많다"고 느꼈다.

양국과의 문제와 그 해결방법에 대해, 서로를 비교함으로써 다각적으로 고찰할 수 있었으며 참고가 되었다. 좀더 바라는 점이 있다면, 각 그룹의 토의내용이나 제안을 책자로 만들거나, 전체발표의 분위기를 좀 더 진지하게 만든다면 더욱 알찬 내용이 될 것이라 생각한다.

한국은 멀어? 가까와?

에노모토 나츠코
(공무원)

흔히 한국은 "가깝고도 먼 나라" 라고 말하는데, 정보가 범람하고 있는 가운데 우리가 이 말을 "실감" 하는 기회는 별로 없다. 책을 읽고 머리속에 축적된 지식도 경험이 뒷받침이 된 "실감"이 있어야 깊은 이해로 인결되는 것이라 생각한다.

합숙세미나에서 스포츠를 하거나 술을 마시면서 이루어진 대화속에서 일본과 한국의 차이 및 공통점, 있는 그대로의 서로의 모습을 "실감" 할 수 있었다.

일본과 한국의 문화 및 가치관에는 차이가 있으나, 같은 세대의 청년으로서 감각이나 가치관에는 차이가 없다는 점. 이 점을 실감하며 이해하게 된 사실은, "가깝고도 가까운" 나라가 되기 위해 무엇이 부족했었는지를 생각하는 데 도움이 될 것으로 본다. 하지만 한국 청년들과의 거리는 조금도 멀다고 느껴지지 않았다.

마음의 교류

무로키 유리
(교원)

부끄러운 일이지만 나는 이웃나라인 한국에 대해서 지금까지 거의 아무런 관심없이 지내왔다. 너무나 가까와서 흥미의 대상이 되지 않았기 때문인지, 아니면 일본과 한국은 역사적으로 여러가지 어려운 문제를 안고 있다는 막연한 의식이 공부 부족인 나로 하여금 한국에 대한 관심을 멀게 하였기 때문인지.

그러한 나에게 큰 변화를 가져오게 한 것이 한국청년들과 함께한 3일간의 합숙세미나였다. 스포츠 교류에서는 서로의 마음이 하나가 되어 즐거운 땀을 흘렸으며, 분과회에서는 서로 상대나라에 대한 이해를 높이고자 의견을 교환했다. 식사를 하며 나눈 대화에서는, 언어의 장벽에도 불구하고 "같은 생각을 나누고 싶다" 라는 마음을 서로 나누었다.

그들의 뜨겁고 성실한 인품에 접한 3일간을 보낸 지금 또 다시 그들을 만나러 가는 날을 기대하고 있는 나 자신을 발견한다.

일한 학생 합숙 세미나에 참가하여

다무라 요우헤이
(학생)

일한 학생 세미나에 참가한 것은 19년간의 내 인생에서 최고의 추억이 되었다. 처음에는 토론을 위한 학습회가 힘이 들어서 몇번이나 좌절할 뻔 했으나, 합숙 세미나를 마친 지금, 내 마음은 감동으로 넘치고 있다.

일본인 뿐만 아니라 한국의 친구도 많이 생겼다. 짧은 기간이라 참가자 전원과 만족스럽게 대화를 나눌 수는 없었으나, 형제처럼 친하게 된 친구가 몇명 생겼다. 그러한 친구가 생긴 것 만으로도 알찬 합숙 세미나였다고 생각한다.

내년에도 꼭 이와 같은 합숙 세미나에 참가하고 싶다. 귀중한 기회를 주신 것에 진심으로 감사한다. 고맙습니다.

4. 홈스테이 가정이 느낀 인상

안녕! 이웃 사촌

다카하시 요시후미 · 가츠코
(가가와현)

일본에서 가장 가까운 외국, 이웃나라인 한국에서 오신 손님, 우리집에 오신 걸 환영합니다. 한국의 문화나 식생활은 미디어를 통해 일본에 많이 들어와 있어 알고 있었기 때문에 우리 부부는 편안한 마음으로 청년을 받아들였다.

그러나 한국어사전을 찾으면서 손짓발짓으로 커뮤니케이션을 하는 일은 생각보다 통하지 않아 힘들었다. 그녀가 영어를 조금 할 수 있어서 한국어, 일본어, 영어를 섞어가면서 왁자지껄하고도 즐거운 시간을 가졌다.

그녀가 사회복지에 관심을 가지고 있었기 때문에 우리들은 세 곳의 복지시설에 안내했다. 그녀로서는 외국에서 처음으로 해보는 홈스테이였다. 그래서 나는 그녀에게 많은 것을 알려주고 싶었고, 내 자신의 발전을 위해서도 많이 알고 싶었다. 하지만 그러기에는 3일은 짧아서 많은 아쉬움을 남겼다.

2002년 월드컵축구의 공동개최에도 한층 더 관심이 높아졌고 기회가 되면 꼭 한국에 가보고 싶다고 생각하고 있다.

박 수미씨는 '기모노' 미인

스즈키 히로코
(오이타현)

우리집에 오시게 된 분은 강릉대학교 도서관에 근무하고 있는 귀여운 박 수미씨였다. 때마침 우리집에는 오이타현 국제교류과 의뢰로 아일랜드 출신의 캐롤라인씨가 체재하고 있어서 손자들도 아주 기뻐했다.

나는 두사람에게 일본 전통문화를 맛보게 하고 싶어서, 일본의 기모노를 입혀서 다도회를 개최했다. 손자들도 자기가 직접 구운 찻잔을 가져와서 참석했다.

박 수미씨는 놀랄 정도로 '기모노' 미인이었고, 일본어도 전혀 불편함이 없었다.

우연히 가 본 시립 문화회관에서 개최된 취주악 콩쿨대회에서는 알고나 있었다는 듯이 한국의 아리랑과 아일랜드의 민요가 연주되고 있었다. 그리고 벳부 온천에서 함께 목욕했다.

우리집에는 귀여운 친척이 또 생겼다. "수미양, 신혼여행은 벳부로 오세요."

무궁화 꽃과 함께 찾아온 이선생님

하시모토 미즈에
(니가타현)

한국의 국화인 무궁화 꽃이 집마당에 각가지 색으로 한창 다투어 피는 여름에 이선생님은 우리집으로 홈스테이를 오셨다.

현관과 화실('다타미' 방)을 꽃으로 꾸미고 이선생님을 맞이하였다.

우리집에서 홈스테이를 받는 일은 처음 해보는 경험이었다. "언어의 장벽은 손짓 발짓으로라도 해결된

다"라는 가족들의 적극적인 생각에 힘을 얻고 뭔가 새로운 바람이 집안에 불어 올 것이란 기대로 기뻤다. 평소에는 모르고 지냈던 가족들의 일면도 알게 되었다.

고등학교 교사인 이선생님이 이틀째 밤에는 노래를 불러주셨다. 이선생님의 노래소리는 후일 이웃집에서도 "잘 들리더라" 고 화제거리가 될 정도로 평판이 자자했다.

짧은 시간이었으나 이선생님은 한국의 풍습과 생활습관을 우리에게 가르쳐주셨다. 기분 좋은 바람이 불어온 여름 날이었다.

"감사합니다"란 말 한마디

요코미조 하츠코
(홋카이도)

홈스테이를 받는 날 마중나가 돌아오는 차 안에서 "우리를 아버지, 어머니로 생각하세요. 나도 학생을 우리 딸이라고 생각하고 있어요."라고 김정희 씨에게 말했다. 그때부터 그녀는 마음을 터놓고 내 딸을 "언니" 라고 부를 정도로 친해져서 둘은 마치 자매처럼 즐겁게 얘기를 나누었다.

마지막날 그녀는 딸에게 한복을 입혀주고 사진도 찍고, 여자끼리 패션이야기 등을 하면서 즐거운 시간을 보냈다. 헤어질 것을 생각하면 슬퍼질 정도로 두사람은 친한 사이가 되었다.

작별의 날, 하고 싶은 이야기는 많지만 그냥 손을 꼭 잡고만 있을 뿐, 누구도 입을 여는 사람이 없었다. 버스를 탄 그녀가, 목소리는 들리지 않았지만, 창밖으로 "고맙습니다" 라고 말하는 것을 알았고, 그 순간 나는 참고 있던 눈물이 넘쳐 흐르고 말았다. 버스가 움직이기 시작하고 그녀도 눈물이 가득찬 눈으로 바라보고 있었다. 서로가 시야에서 사라져 보이지 않을 때까지.

처음 경험해 보는 호스트패밀리를 통해 정말 멋진 만남을 하게 해 준 점에 감사한다.

실적자료

1. 대한민국 청년 초청사업 실적 일람

●1995년도(98명)

분야면	인수	실시협력단체	실시지역	지방협력단체
청년지도자·공무원	25	(사) 국제교류서비스협회	니가타	(재)니가타현 국제교류협회
근로청년	23	(사) 근로후생협회	사이타마	아세오시 국제교류추진위원회
교 원	25	(재) 일본유스호스텔협회	후쿠이	(재)후쿠이현 국제교류협회
학 생	25	(재) 세계청소년교류협회	아키타	아키타현 세계청소년우호회

●1996년도(100명)

분야면	인수	실시협력단체	실시지역	지방협력단체
청년지도자·공무원	25	(재) 일본유스호스텔협회	에히메	(재)에히메현 국제교류협회
근로청년	25	(사) 근로후생협회	시가	시가현 청년단체연협회
교 원	25	(사) 국제교류서비스협회	이바라키	1996년도 이바라키현 외국청년 초청사업실행위원회
학 생	25	(재) 세계청소년교류협회	아키타	(재)아키타현 국제교류협회

●1997년도(97명)

분야면	인수	실시협력단체	실시지역	지방협력단체
청년지도자·공무원	25	(재) 일본유스호스텔협회	나가사키	나가사키현 유스호스텔협회
근로청년(사무계)	24	(사) 근로후생협회	홋카이도	(사)타키가와 국제교류협회
교원(초등학교)	23	(재) 세계청소년교류협회	이바라키	이바라키현 외국청년초청사업 실행위원회
학생(인문·사회계열)	25	(사) 청년해외협력협회	쿠마모토	쿠마모토현 청년해외협력협회

●1998년도(99명)

분야면	인수	실시협력단체	실시지역	지방협력단체
청년지도자·공무원	24	(재)일본유스호스텔협회	군마	(재)군마현 국제교류협회
근로청년(기술계)	25	(사)근로후생협회	홋카이도	(사)오비히로 청년회의소
교원(중학교)	25	(사)국제교류서비스협회	이바라키	이바라키현 외국청년초청사업 실행위원회
학생(이공계)	25	(재)세계청소년교류협회	홋카이도	(사)타키가와 국제교류협회

●1999년도(100명)

분야면	인수	실시협력단체	실시지역	지방협력단체
청년지도자·공무원	25	(사) 청소년 육성 국민회의	가가와	(재)가가와현국제교류협회
근로청년(사무계)	25	(사) 근로 후생 협회	오이타	오이타현 해외협회
교원(고등학교)	25	(재) 일본 유스호스텔 협회	나가타	(재)나가타현 국제교류협회
학생(인문·사회계열)	25	(재) 세계 청소년 교류 협회	홋카이도	(사)타키가와 국제교류협회

*공통 · 평가프로그램은 일본국제협력 센터가 전그룹을 대상으로 실시.

2. 1999년도 청년 초청사업 실적 일람

실시기간 각진의 인원	국명	분야	인원수	실시협력단체	실시현
5 월12일 ∼ 6 월 8 일 1 진 46명	태국 태국	교원(유아교육) 농업(농업)	23 23	(사) 국제교류서비스회 일본청년단협의회	야마나시 오카야마
5 월12일 ∼ 6 월 8 일 2 진 75명	필리핀 필리핀 필리핀	교원(중등교육) 농업(농업) 경제경영	23 23 29	(재) 일본유스호스텔협회 (재) 이와테현국제교류협회 (사) 근로후생협회	군마 이와테 토치기
5 월19일 ∼ 6 월15일 3 진 30명	파푸아뉴기니 파푸아뉴기니	교원(기술교육) 공무원(교육관계)	20 10	(사) 일본경제청년협의회 (사) 청년해외협력협회	이시카와 나라
5 월19일 ∼ 6 월15일 4 진 100명	중국 중국 중국 중국	청년지도자 경제청년 공무원 교원	25 25 25 25	(사) 청소년육성국민회의 (재) 유스워커능력개발협회 (재) 일본유스호스텔협회 (재) 일본우애청년협회	오사카 토야마 미에 도쿠시마
5 월26일 ∼ 6 월22일 5 진 92명	말레시아 말레시아 인도네시아 인도네시아	교원(기술교육) 농업(농업) 교원(중등교육) 농업(농업)	25 21 23 23	(사) 국제교류서비스협회 (재) 세계청소년교류협회 (사) 근로후생협회 (사) 청년해외협력협회	후쿠이 아키타 야마가타 후쿠오카
6 월23일 ∼ 7 월20일 6 진 40명	필리핀 필리핀	행정(지방행정) 지역진흥	20 20	(재) 세계청소년교류협회 (사) 일본경제청년협의회	이바라키 홋카이도
6 월30일 ∼ 7 월27일 7 진 97명	아세안혼성 아세안혼성 아세안혼성 아세안혼성	교육 경제(금융) 보건위생(공중위생) 사회복지(장애자복지)	24 25 24 24	(사) 일본국제생활체험협회 (사) 청소년육성국민회의 (재) 국제간호교류협회 (재) 삿포로국제플라자	사이타마 후쿠오카 아이치 홋카이도
7 월 7 일 ∼ 8 월 3 일 8 진 100명	한국 한국 한국 한국	청년지도자 공무원 근로청년(사무계) 교원(고등학교) 학생(인문 · 사회계)	25 25 25 25	(사) 청소년육성국민회의 (사) 근로후생협회 (재) 일본유스호스텔협회 (재) 세계청소년교류협회	가가와 오이타 니가타 홋카이도
7 월14일 ∼ 8 월10일 9 진 49명	베트남 베트남	경제 농업	24 25	(재) 일본국제협력센타 (사) 청년해외협력협회	에히메 와카야마
7 월14일 ∼ 8 월10일 10진 92명	아세안혼성 아세안혼성 아세안혼성 라오스	과학기술 환경보전(도시환경보전) 공공 공익사업(운수·교통) 지역개발	24 24 24 20	(재) 토요카와시국제교류협회 (사) 일본경제청년협의회 (사) 국제교류서비스협회 (재) 고치현국제교류협회	아이치 홋카이도 기후 고치
8 월18일 ∼ 9 월14일 11진 40명	방글라데시 파키스탄	보건의료 공무원(개발부문)	20 20	(재) 국제간호교류협회 (사) 청년해외협력협회	시마네 가가와
9 월23일 ∼ 10월20일 12진 29명	스리랑카 부탄/몰디브 네팔	교육(초중고교원) 교육(초중고교원) 교육(학교경영)	10 10 9	(재) 아이치국제교류협회 (재) 일본국제협력센터 (사) 고마가네청년회의소	아이치 사가 나가노
10월13일 ∼ 11월 9 일 13진 100명	중국 중국 중국 중국	인재육성 경제개발 지역진흥 산업기반정비	25 25 25 25	(사) 청소년육성국민회의 (사) 근로후생협회 (재) 유스워커능력개발협회 (사) 국제선린협회	이시카와 오사카 도쿠시마 시가

실시기간 각진의 인원	국명	분야	인원수	실시협력단체	실시현
11월 3 일 ∼ 11월30일 14진 50명	캄보디아	경제	30	(재) 일본유스호스텔협회	홋카이도
	사우디아라비아	교육(초중고교원)	20	(사) 청년해외협력협회	오카야마
11월10일 ∼ 12월 7 일 15진 75명	아프리카(불어권)	여성교원	24	(재) 세계청소년교류협회	아오모리
	아프리카(불어권)	이수과교원	25	(재) 오사카부국제교류재단	오사카
	아프리카(불어권)	보건위생	26	(재) 일본국제협력센터	오카야마
11월17일 ∼ 12월14일 16진 50명	인도	교육(이수과교원)	30	(재) 세계청소년교류협회	홋카이도
	미얀마	교육	20	(사) 일본유네스코협회연맹	가나가와
11월24일 ∼ 12월21일 17진 56명	태평양혼성	공무원	22	(사) 일본경제청년협의회	야마구치
	태평양혼성	교원	22	(사) 일본국제생활체험협회	야마구치
	피지	공무원	12	(재) 일본국제협력센터	효고
11월24일 ∼ 12월21일 18진 120명	중국	초등학교교원 1	24	(사) 근로후생협회	돗토리
	중국	초등학교교원 2	24	(재) 일본유스호스텔협회	미야기
	중국	중학교교원	24	(사) 청소년육성국민회의	오키나와
	중국	고등학교교원 1	24	(사) 청년해외협력협회	에히메
	중국	고등학교교원 2	24	(재) 세계청소년교류협회	나가사키
1 월12일 ∼ 2 월 8 일 19진 69명	태국	경제경영	23	(사) 근로후생협회	아이치
	태국	행정(지방행정)	23	(사) 국제교류서비스협회	가고시마
	태국	지역진흥(지역청년지도자)	23	(재) 세계청소년교류협회	효고
1 월12일 ∼ 2 월 8 일 20진 51명	베트남	교육	26	(재) 유스워커능력개발협회	미야자키
	베트남	공무원	25	(재) 일본국제협력센터	치바
1 월19일 ∼ 2 월15일 21진 35명	중앙아시아혼성	경제	25	(재) 일본유스호스텔협회	홋카이도
	몽골	지방행정관	10	(재) 세계청소년교류협회	후쿠시마
1 월19일 ∼ 2 월15일 22진 54명	중남미혼성	사회복지	28	(사) 청년해외협력협회	구마모토
	중남미혼성	교원	26	(사) 일본국제생활체험협회	오키나와
1 월26일 ∼ 2 월22일 23진 68명	인도네시아	경제경영	23	(사) 일본경제청년협의회	시즈오카
	인도네시아	행정	23	(사) 청소년육성국민회의	후쿠시마
	인도네시아	지역진흥	22	(사) 근로후생협회	후쿠오카
2 월 2 일 ∼ 2 월29일 24진 69명	아프리카(영어권)	여성교원	24	(재) 유스워커능력개발협회	교토
	아프리카(영어권)	이수과교원	23	(사) 청년해외협력협회	홋카이도
	아프리카(영어권)	보건위생	22	(사) 청소년육성국민회의	시즈오카
2 월 9 일 ∼ 3 월 7 일 25진 68명	말레시아	경제경영	21	(사) 국제교류서비스협회	히로시마
	말레시아	행정(지방행정)	25	(재) 일본유스호스텔협회	히로시마
	말레시아	지역진흥	22	(재) 세계청소년교류협회	도야마
합계	73그룹 107개국 지역 1,655명	캄보디아(30) 인도네시아(149) 라오스(34) 말레시아(149) 미얀마(20) 필리핀(150) 태국(150) 베트남(115) 태평양14개국 지역(86) 중국(320) 한국(100) 남서아시아 7 개국(99) 몽골(10) 아프리카49개국(144) 중남미20개국(54) 사우디아라비아(20) 중앙아시아 5 개국(25)			

青年招へい事業 ―韓国―[交流レポート](1999)
청년 초청 사업 ―한국―[교류 보고서](1999)
平成12年3月31日

発行 国際協力事業団国内事業部研修業務課
발행 Training and Youth Invitation Division
Domestic Partnership and Training Department
Japan International Cooperation Agency
〒151-8558 東京都渋谷区代々木2丁目1-1
新宿マインズタワー
주소 SHINJUKU MAYNDS TOWER
2-1-1, Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151-8558 Japan
Phone (03) 5352-5401～3

編集 (財)日本国際協力センター 国際交流部
편집 Japan International Cooperation Center
International Exchanges Department
〒163-0189 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル15F
주소 Shinjuku Mitsui Bldg., 15F,
2-1-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 163-0189 Japan
Phone (03) 5322-2571

無断転載を禁じます。
무단전재를 금함.

JICA
Japan
International
Cooperation
Agency
国際協力事業団